

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	医療法人緑泉会 かみか企画		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		2025年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ひとりひとりの児童の特性・発達に合わせた個別療育をメインのプログラムに取り組んでいること。	児童の発達状況や困りごとに合わせたプログラムを精査し、きめ細やかで丁寧な支援の実施。	職員の研修への参加や他事業所や施設などの見学・視察の実施を行い、職員の資質向上を図る。
2	送迎時などの時間を利用し、保護者や幼稚園関係者ときめ細やかな情報共有を行っていること。送迎時は運転には専属ドライバー、引率には指導員を配置し、安全面とともに保護者をはじめ関係者との情報共有できる時間を意識的に確保していること。送迎時から療育プログラムは始まっていると認識し実践している。	送迎時に保護者や幼稚園の担任・担当職員の方々と積極的に情報共有をし、児童の日々の様子を把握している。送迎時から療育プログラムは始まっていると認識し実践している。	ドライバー、引率時指導員の資質向上、安全面への配慮などの研修を随時行う。
3	医療法人柳原皮膚科との連携を取り、健康面に関するプログラム作りに取り組んでいること。	児童の顔色・体温・表情をよく観察するようにしている。	母体の医療法人の医師から皮膚に関するセミナーなどを行うプログラムの準備に取り掛かっている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	開所して1年未満のため、事業所での取り組みを保護者の方々に周知できていない事案がある。	現在も取り組んでいる、面談や参観(個別サポート)をさらに保護者へ周知徹底する。	連絡帳ツールなどを使い、積極的に面談や参観への呼びかけを行う。
2			
3			